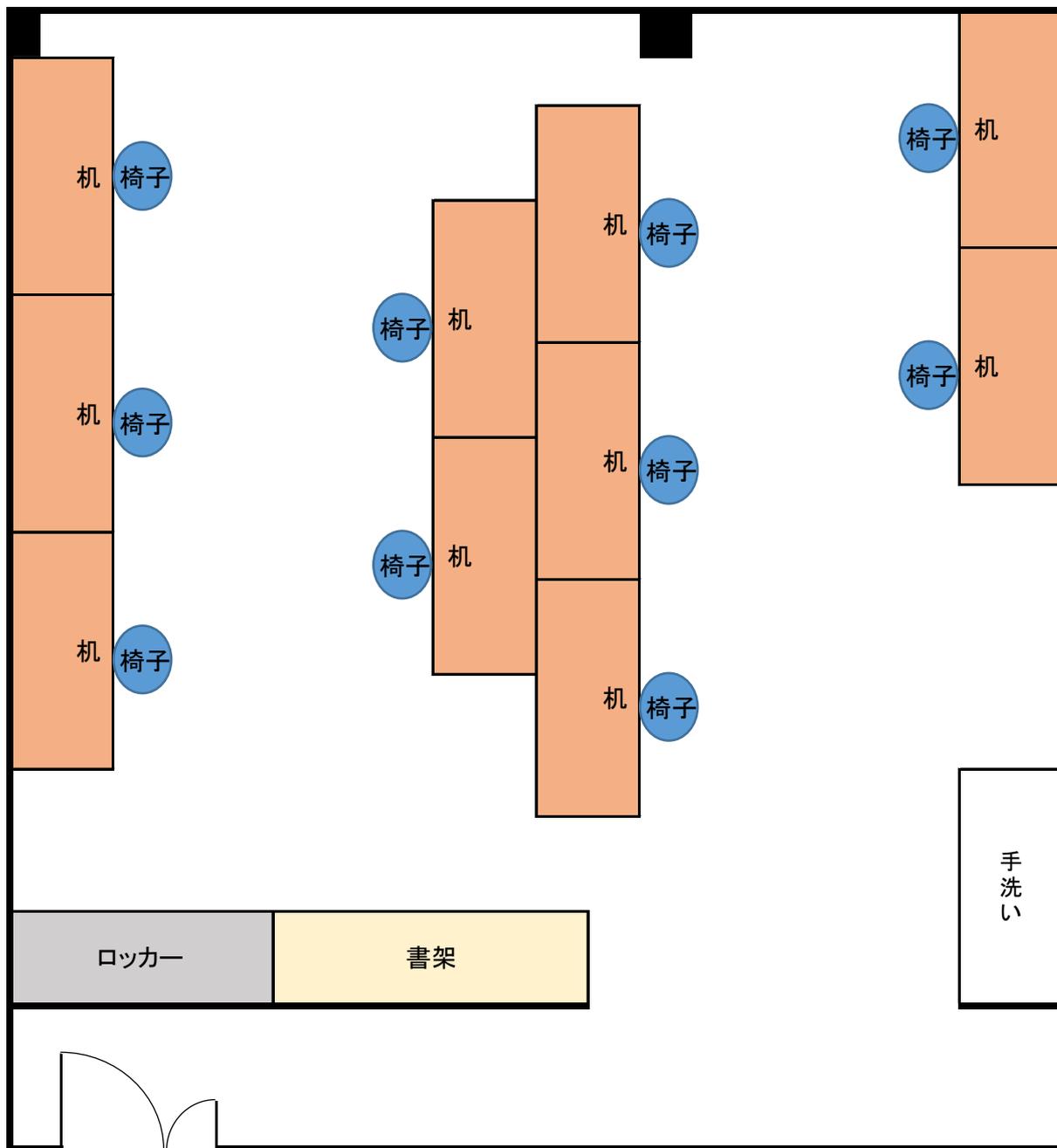


大学院生研究室 室内見取り図 (49.27㎡)



自身の専門分野を基軸として、広範なスポーツ学の専門的知識を体系化することができ、自らの研究成果を基に理論的な指導法を確立し、さらに、それらを教授できる高度な実践力を有する者を養成する

**スポーツ教育
領域**

グローバル化、情報化、少子高齢化という社会情勢に伴い、学校教育において求められる人材像も変わりつつある。これら社会の変化に柔軟に対応し、課題探求型の学びを展開できる高度な実践的指導力を有する人材を養成する。

**コーチング
領域**

運動・スポーツに関する研究を通して得られた知見や、現場での実習を通して修得した課題解決能力を基に、専門性の高い理論的なスポーツ指導法を確立し、実践力を有する人材を養成する。

**健康フィットネス
領域**

運動と健康に関する種々の研究成果に基づいて、幅広い年代層に対して適切な運動強度を選択でき、積極的な健康づくりを支援できる能力を有する人材を養成する。また、現場運営管理に参画することができ、多方面から健康づくり施策を支援できる人材を養成する。

**アスレティックトレーニング
領域**

スポーツ医科学の研究を通して得られた科学的根拠に基づく高い専門性と実践力を兼ね備えたトレーナーを養成する。また、東京オリンピック等の国際大会や海外遠征を見据え、グローバルにトレーナー活動を展開できる人材を養成する。

スポーツ学研究科スポーツ学専攻

**スポーツ教育
コース**

特に青少年に対し、年齢に応じたスポーツ指導や提案を行い、スポーツ技術の向上につながるよう適切な指導を行う知識と技能を身につける。

**スポーツ総合
コース**

解剖学や生理学、栄養学などを幅広く学び、科学的根拠に基づいた最新のスポーツ理論とハイテク機器をつかった学習により、スポーツ選手を科学的に指導できるコーチを目指す。

**健康フィットネス
コース**

健康増進や生活習慣病対策において、運動を指導する専門家の必要性が言われていることから、健康を保つための運動や栄養指導など、日常の指導に必要な知識と技術を身につける。

**スポーツトレーナー
コース**

スポーツ医科学の知識のもとに、スポーツチーム、運動施設、病院等でスポーツ選手の健康管理や怪我からの復帰、競技力向上を手助けするための様々な知識や技術を学ぶ。

スポーツ学部スポーツ学科